

# 第71回関東高等学校剣道大会千葉県予選会

## 個人戦

令和6年5月7日

### 試合方法について

- ① 試合はトーナメント方式とします。
- ② 準決勝は同時に開始し、決勝戦まで行います。準決勝・決勝は放送で連絡いたします。  
決勝戦は3位・4位決定戦より遅らせて始めます。3位・4位決定戦は揃いしだい開始してください。
- ③ 試合時間は4分三本勝負、勝敗の決しない場合は、4分刻みの一本勝負の延長戦を勝敗が決するまで行います。延長2回（8分）経過で試合場内での休息（1分目途）さらに延長2回（8分）経過で面を外しての休憩（4分目途）を行い、その後は延長2回（8分）ごとに休息・休憩を繰り返します。
- ④ 休息、休憩時での監督からの指示はお控えください。
- ⑤ すべて全剣連のガイドラインに沿って行います。鏝競り合いとなった場合、もしくは接触している場合は一呼吸（およそ3秒）で分かれるか引き技を出し、掛け声は出さないようにして下さい。（引き技時の発声は認める）

### 試合場について

- ① 男子1・3試合場、女子2・4試合場とします。
- ② 男子準決勝1・3試合場 決勝1試合場 3位決定戦3試合場
- ③ 女子準決勝2・4試合場 決勝2試合場 3位決定戦4試合場

### 試合について

- ① 第1試合の正面への礼はアナウンス、試合開始は審判長の宣告で開始します。
- ② 蹲踞できない選手がいる場合、監督から審判主任に申し出て下さい。審判主任は相手監督に伝えて下さい。
- ③ 次の試合の選手は各試合場後方で準備をおねがいします。
- ④ 監督は監督相互の礼が終了次第、監督席に着座して下さい。
- ⑤ 監督の腕時計、携帯電話の監督席への持ち込みは禁止します。
- ⑥ 飾り物（千羽鶴等）は選手・監督席に持ち込まないで下さい。
- ⑦ サポーター・テーピングの許可、届け出は必要ありません。但し、医療上必要があり見苦しくなく相手に危害を加えない範囲のものであれば使用を認めます。
- ⑧ 剣道具の破損や規格外の物、または華美なものについてはあらかじめ取り替えてください。
- ⑨ 個人戦は監督不在でも試合は進行いたします。監督、代理監督が1度監督席に入った後は、途中での監督交代はできません。

### 検査・計量について

- ① 竹刀検査・計量を実施します。剣道用具確認事項に基づき行ってください。

## 練習について

- ① 朝の練習は、アリーナで8時30分の入場から9時40分までとします。剣道場での練習は開会式終了後といたします。練習は指定した場所以外では行わないようお願いします。
- ② 個人戦出場者の練習相手は、自校選手が1名の場合のみ1名可とする。  
※自校出場選手2名以上の場合は出場選手同士でお願いいたします。

## その他

- ① 面マスク等の着用について
  - (1) 選手はマウスシールド（マウスガード）を必ず着用して下さい。面マスクの着用は、個人の判断といたします。練習会場においても同様をお願いします。
  - (2) 審判員はマスクを着用しません。ただし、控席等でのマスクの着用は個人の判断とします。  
※マスクを着用する場合は、白色の不織布マスクとします。
  - (3) 大会役員・係員・観客等はマスクの着用は個人の判断によるものとします。  
※ ただし、今後の感染症の感染状況によっては、これらの対応を変更する場合があります。
- ② 引率責任者はフロアーには入ることができませんので指定した観覧席での応援をお願いします。
- ③ 竹刀の検査・計量を行っておりますが、剣道用具確認事項に基づき、今一度面紐の長さ・竹刀等ご確認下さい。
- ④ 試合の終了した選手が見学する場合は観覧席をお願いします。
- ⑤ 練習は指定した場所で、マウスシールド必須をお願いします。
- ⑥ ビデオ撮影は観覧席をお願いします。
- ⑦ 応援は拍手のみをお願いします。（観覧席含む）
- ⑧ 監督・代理監督変更届を出入口に貼っておりますのでご確認ください。

# 第7 1回関東高等学校剣道大会千葉県予選会

## 団体戦＜男女共通＞

令和6年5月10・11日

### 試合方法について

- ① 試合はトーナメント方式とします。
- ② 準決勝は同時に開始し、決勝戦まで行います。準決勝・決勝は放送で連絡いたします。  
決勝戦は3位・4位決定戦より遅らせて始めます。3位・4位・5位・6位・7位決定戦は揃いしだい開始してください。
- ③ 試合時間は4分三本勝負、勝敗が決しない場合は引き分けとします。なお、すべて同点の場合は当該試合出場選手による代表者戦を行います。
- ④ 代表者戦は4分一本勝負とし、勝敗が決しなかった場合は4分刻みの延長戦を勝敗が決するまで行います。延長2回（8分）経過で試合場内での休息（1分目途）さらに延長2回（8分）経過で面を外しての休憩（4分目途）を行い、その後は延長2回（8分）ごとに休息・休憩を交互に繰り返します。
- ⑤ 監督は代表者を速やかに決定し、審判主任に申し出てください。なお、試合を円滑に進行させるため、代表者は直ちに準備してください。
- ⑥ 休息、休憩時での監督からの指示はお控えください。
- ⑦ すべて全剣連のガイドラインに沿って行います。鏝競り合いとなった場合、もしくは接触している場合は一呼吸（およそ3秒）で分かれるか引き技を出し、掛け声は出さないようにして下さい。（引き技時の発声は認める）

### 試合場について

- ① 8試合場とします。
- ② 決 勝 3試合場
- ③ 3位・4位決定戦 4試合場
- ④ 5位・6位決定戦 5・6試合場
- ⑤ 7位・8位決定戦 6試合場
- ⑥ 対戦校は横並びに座ります。

### 試合について

- ① 第1試合の正面への礼はアナウンス、試合開始は審判長の宣告で開始します。
- ② 蹲踞できない選手がいた場合は監督から審判主任に申し出てください。審判主任が相手校監督に伝えて下さい。
- ③ 出場選手指定届は、1, 2試合目の学校は、1試合目開始までに提出。  
それ以降の学校は自校の試合の前の試合の開始までに提出してください。  
※各試合場に出場選手指定届を準備してあります。
- ④ 試合前後の整列は1校とします。次の試合の学校は各試合場後方で準備をおねがいします。

- ⑤ 次の試合の学校は、前の試合の学校の最後の礼が終わったら速やかに整列をお願いいたします。  
監督は監督同士の礼が終わりましたら、試合終了監督は退出、当該試合監督は着座してください。  
※5人に満たない学校の選手は後ろ詰めで整列してください。対戦校の人数により、出場選手指定届を提出した学校は対戦校の人数に合わせ、出場選手は後ろ詰めで整列し、出場しない選手は出場する選手より前に整列します。 ☆委員総会資料 P31.32 参照
- ⑥ 自校または対戦校が3・4名での出場の場合は2番目に試合をする選手まで面を付けて下さい。
- ⑦ 選手は登録制ですので、オーダーの確認を必ず行って下さい。また、指定届を提出した学校は指定した選手が試合をするよう必ず確認を行ってください。
- ⑧ 試合前・選手の交代時の握手や胴突き、試合会場での円陣等、行わないようにしてください。
- ⑨ 腕時計、携帯電話、飾り物（千羽鶴等）は選手・監督席への持ち込みは禁止します。
- ⑩ サポーター・テーピングの許可、届け出は必要ありません。また、医療上必要があり見苦しくなく相手に危害を加えない範囲のものであれば使用を認めます。
- ⑪ 剣道具の破損や規格外の物、または華美なものについてはあらかじめ取り替えてください。

#### 検査・計量について

- ① 竹刀検査・計量を実施します。剣道用具確認事項に基づき行ってください。

#### 練習について

- ① 朝の練習は、登録選手のみアリーナで7時30分の入場から8時40分までとします。剣道場での練習は開会式 終了後といたします。練習は指定した場所以外では行わないようにお願いします。  
**※<男女別>**男子の前日練習は15時30分から17時30分まで行えます。  
女子の前日練習は男子ベスト16が揃い次第、閉会式終了まで剣道場で行えます。

#### その他

- ① 大会当日に欠場選手が出た場合、5人に満たないチームは審判監督会議までに競技委員長に口頭で報告してください。
- ② 面マスク等の着用について
  - (1) 選手はマウスシールド（マウスガード）を必ず着用して下さい。面マスクの着用は、個人の判断とします。練習会場においても同様をお願いします。
  - (2) 審判員はマスクを着用しません。ただし、控席等でのマスクの着用は個人の判断とします。  
※マスクを着用する場合は、白色の不織布マスクとします。
  - (3) 大会役員・係員・観客等のマスクの着用は個人の判断とします。※ ただし、今後の感染症の感染状況によっては、これらの対応を変更する場合があります。
- ③ 引率責任者はフロアーには入ることができませんので指定した観覧席での応援をお願いします。
- ④ 竹刀の検査・計量を行っておりますが、剣道用具確認事項に基づき、今一度面紐の長さ・竹刀等ご確認下さい。
- ⑤ 試合の終了した学校が見学する場合は観覧席をお願いします。
- ⑥ 練習は指定した場所をお願いします。
- ⑦ ビデオ撮影は観覧席をお願いします。
- ⑧ 応援は拍手のみをお願いします。（観覧席含む）
- ⑨ 選手・監督変更届・追加申込選手を出入口に貼っておりますのでご確認ください。